

遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1,500部発行、全戸配布です。

フォレスター 通信

=森林ふれあい研修=

森林事務所では、学校現場と連携し、子どもたちに森林とのふれあい等を通じて自然環境の大切さへの理解を深めてもらう「森林環境教育」の充実に取り組んでいます。このたび、これらの指導者としての、より専門的な勉強をさせていただく機会を得て、東京都にある林野庁森林技術総合研修所において「森林ふれあい研修」を受講してきました。



講師には自然体験活動関連のNPOや森林研究機関の第一線で活躍されている方々を迎え、森林での野外活動をより楽しくするプログラム作り、指導者としての専門知識、解説技術、安全管理などについて、より実践的で専門的な内容を講義、討論、実習を通じて学んできました。



実習地となった高尾山は、スギ、ヒノキが香り、イノシシの気配？にあふれ、東京とは思えないほどの自然体感スポット。普段、北海道の森林としか接していない私にとっては、その植生等は大変興味深く、勉強になりました。

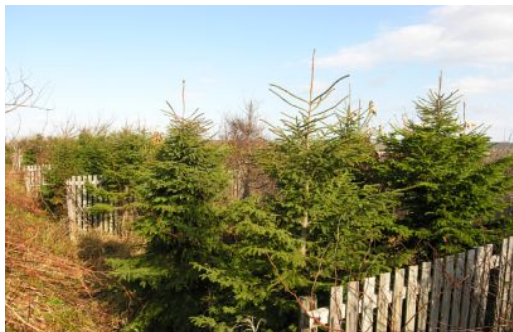
ここで学んできたことは、早速、今後の仕事に生かし、みなさんに森林での自然体験活動等をこれまで以上に楽しんでもらえるようなプログラムを実践して行きたいと考えています。

首席森林官 中鍵 貴之

空へ向かってのびゆく海岸防風林

遠別町浜啓明地区の国有林では、海から吹き付ける強烈な潮風などを弱め、私たちの生活や農地等を守るための「海岸防風林」の造成を平成三年から続けています。ここでは、植えた木々を強風から守るために防風柵で囲んだ区画にカシワナラやトドマツ等を植付けし、育てています。

防風柵の高さは約二メートルあるため、中の様子は見えにくく、非常に厳しい自然環境下、その育ちが心配です。植栽後十年を経た区画では、写真のように柵から頭を出し、空に向かって枝を広げ始めています。歩みは普通の山々に比べると遅いものの、木々は着実に生長を続けています。



防風柵を越えて伸びるトドマツ



元気に育て北の森林！
浜啓明防風保安林



子ども達と一緒に森林づくり★どんぐり教室

このように海岸防風林を育てる作業に、遠別小学校の二年生の皆さんが「どんぐり教室」として長年参加しています。今年は十月四日に、二十二名の皆さんが、スコップで植穴を掘り、肥料をまき、カシワナラ、トドマツ、ハンノキの苗木約八十本を大切に植付けしました。

九月に行った「森林教室」で森林づくりについて勉強してきたことの実践でもあり、みんな一生懸命。元氣いっぱいの子供達は苗木を全部植付け終わると「もう苗木はないの？」「もう一つ！もっと！たくさん植えたい！」と、浜啓明の海岸に「森をよみがえらせる夢」は、みんなの手を取り合えば、どんな大きくふくらみます。これから、みんなと一緒に未来の森を大切に育てていきたいですね。



一生懸命に苗木を植付する子供たち

>>>エゾシカの狩猟期間です。ご注意ください！

国有林ではエゾシカの狩猟期間（平成18年10月25日から平成19年2月28日まで）につきましては、安全確保の観点から狩猟者以外の一般の方の入林を許可しないこととしていますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



遠別の森から

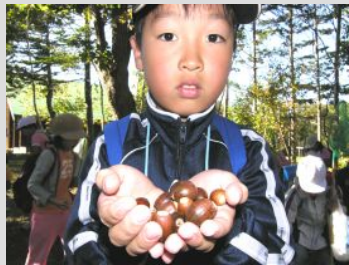
留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1,500部発行、全戸配布です。



ヤマブドウ見つけたよ、まだ酸っぱかったよ。



Donguriもいっぱい落ちていたよ。これだけあれば、動物たちの冬ごもりも大丈夫かな。



ウバユリの種は、すごく軽くて、風が吹くと遠くまで飛んでいくんだ。



キノコには枯れた木々などを腐らせて、土に還す働きもあるんだって。



ハート型の実がかわいいね。

富士見公園でいっぱい見つけたよ

十月五日、遠別小学校三年生の皆さんと秋晴れの富士見ヶ丘公園で森林教室を開催しました。これは「森林環境教育」の一環として小学校と国有林が連携して行っているもので、今年は春・夏・秋の三回シリーズで、季節の移り変わりとともに森林の様子がどう変わっていくかを勉強していきます。最終回となった「秋編」は一年の総まとめ。東遠別森林事務所の松並善司森林官と一緒に、張り切って森の中へ入り

ました。夏に見た花は種を付け、木々には沢山の実がなり、地面には色々なキノコがいっぱい。次々に現れる「新発見」に歓声を上げながらノートに記録し、楽しく勉強しました。さあ、どんなものを見つけたのかな？



フォレスター通信
三年生と秋の森林教室



元気に育て北の森林！

水源林にアカエゾマツ植付完了



中央地区の国有水源かん養保安林で進めていたアカエゾマツの造林作業がこのほど完了しました。八万四千平方メートルの区域に植付けされた苗木は実に一万五千本。森林づくりの現場は急傾斜、複雑な地形等の条件下にあり、機械化が難しく、苗木の植付けはクワで植穴を掘り、一本一本手作業で進める大変厳しい作業です。そのような中で、ベテラン造林手のみなさんによって丹誠込めて植付けられたアカエゾマツは、これから下草刈りなどの保育作業を経なが



クワを使った手作業で行われる苗木の植付け

ら、遠別の「未来の森」となるべく、大空へ向かって生長していきます。その間には北国の厳しい自然条件が待ち構えていますが、それらに打ち勝ち、一日も早く立派な森林となるよう、みなさんと一緒に見守って行きたいですね。

>>> エゾシカ狩猟期間の入林許可について

国有林ではエゾシカの狩猟期間（平成18年10月25日から平成19年2月28日まで）につきましては、安全確保の観点から狩猟者以外の一般の方の入林を許可しないこととしていますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1,500部発行、全戸配布です。



木の高さを測る「測竿」で、教室の天井の高さを測ってみました。今度は体育館でやってみたいね！



男の子に「木の役」をやってもらって、木の幹の太さを測る「輪尺」で測ってみました。



入庁2年目、「自然や森の動物たちが大好き」でこの仕事を選んだ黒岩祐子森林官。「みんなも大きくなったら、「森林官」になって、一緒に山を歩こうね〜」
子供たちは元気に手を挙げて「は〜い！」（ありがと〜^^）



授業が終わってからの「感想文」の時間。
みんなの思い思いの作文を見せてもらいました。
来週の植樹体験もがんばろうね〜♪。

森林のことをみんなで楽しく勉強

九月二十七日、遠別小学校二年生の皆さんと「どんぐり教室」を開催しました。当日は、遠別森林事務所の中鍵貴之首席森林官と天塩森林事務所の黒岩祐子森林官が先生役となり、子供たちと楽し



しいの一時間でしたが、森林への興味をもってもらい、また私達も元気パワーをもらい大変有意義な時間となりました。次週はみんなで「どんぐり」(ミズナラ)の植樹体験をする予定です。また楽しく森のお話しようね！

くお話ししながら、森やそこに棲む動物たち、森林官の仕事などについて、写真や森林調査の道具などを見て勉強しました。身を乗り出し、元気一杯に森林官へ質問を浴びせる子供たちに圧倒されました。

九月十五日、「浜啓明防風保安林」において防風保安林造成地見学と植樹体験会を開催しました。これは遠別町教育振興会理科サークルの活動の一環として行われたもので、当日は小・中学校の先生方四名の参加がありました。現地は森林造成事業の実施箇所で、平成三年から、海岸の強風を緩和し、農地・道路・家屋を守るためにカシワナラやグイマツを、防風柵・客土・排水工を施した上で植栽しています。



ハンノキとアカエゾマツを50本植えました。

下で森林造成を進める意義、森林技術などに理解を深めていました。見学後には「植樹体験」も行い、今後の生長に思いを込めながら、苗木をいねいに植え付けました。先生方の植えた木々が早く、大きく育ってほしいですね。



フォレスター通信
2年生と「どんぐり教室」



元気に育て北の森林！

学校の先生と防風林見学会



>>>入林の際はご注意ください！

収穫の秋、キノコの季節ですが、山ではヒグマ・スズメバチの活動が想定されます。
入林の際は十分ご注意頂くとともに、管轄森林事務所において入林手続きをお願いします。



北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

山に生きる魚？ エゾサンショウウオ

長を阻害するツル植物を切り取る「ツル切り」作業と、日光を遮り生長を妨げる自然に生えてきた灌木などの樹木や生長の悪い植栽木などを切り倒す「除伐（じょばつ）」作業を進めています。

作業面積は七十二万平方



A person wearing a blue long-sleeved shirt, brown pants, and white gloves is using a chainsaw to cut a tree trunk. The chainsaw is orange and black. The tree trunk is light brown and has some peeling bark. The background is a dense forest with green foliage.

◆問い合わせ先◆ 北海道森林管理局 留萌北部森林管理署 Tel. 050-3160-5725 遠別森林事務所 Tel. 7-2220

遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1,500部発行、全戸配布です。



フォレスター通信 三年生と夏の森林教室



「木に何かついてるぞ〜！」
との声に、みんなが集合。
その正体は？



昨晚、羽化したばかりの
「エゾゼミ」でした。
みんなに見つかって、捕ま
るまいと？、木の上へゆっく
り上がっていききました。



桜の木の下に集まって、み
んなが一斉懸命探っているの
はサクランボ؟؟？



残念！、真っ黒くてとって
も渋い「桜の実」でした〜。
こんな感じで、いっぱい「新
発見」のあった一日でした。

夏の富士見公園は発見がいっぱい

七月二十一日、
遠別小学校三年生
の皆さんと富士見
ヶ丘公園で夏の森
林教室を行いました。
これは「森林環
境教育」の一環と
して小学校と国有
林が連携して行っ
ているものです。
五月の「春編」
に続き二回目とな
った今回「夏編」は、
春と同じコースを森
林官の説明を聞きな
がら一緒に歩き、草
木や虫たちの様子が
前回とどう変わった
か観察しました。
園内は、春には新
芽だった木々が大き
く葉を広げ、花や実



森林官の解説を興味深く聞く皆さん

を付け、池のオタマジャ
クシはカエルになり、頭
上ではセミの大合唱、地
面は忙しそうにエサを運
ぶアリの行列等々。
児童の皆さんは次々に
現れる「新発見」を、歓
声を上げながらノートに
記録し、楽しく勉強しま
した。↙



周囲区画線の刈り払い作業

若い人工林を対象に、
オーナーの皆さんと一
緒に森林を育てていく
「分収育林」。町内の
国有林には、清川・共
栄地区に約六畝に及ぶ
契約林があります。
森林事務所では定期
的な巡視と併せて、そ
の境界の明確化、アク
セス路の確保等のため
周囲区画線の刈り払い
等を行っています。

また、広大な国有林野を
守り育てていくために林内
に張り巡らされた「林道」
の点検や維持修繕作業も大
切な仕事です。
車両の走行に支障となる
夏草の刈払い、崩土の除去
や雨水によって浸食された
路面の整正等を適期に行
い、その管理に努めていま
す。



ホイールローダによる林道維持作業

元気に育て北の森林！

夏山では管理作業中です



夏休みの自由研究は、もう終わったかな？

小学生の皆さんは、夏休みも半ばですね。自由研究はもう終わりましたか？
林野庁では、小学生の皆さん向けに「こども森林館」という楽しく遊びながら学べるホームペ
ジを用意しています。研究の良いヒントが見つかるかもしれませんよ。

ぜひ、覗いてみてくださいね。 <http://www.rinya.maff.go.jp/kids/>



遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1,500部発行、全戸配布です。

みんなの植えた木 どうなったかな？

昨秋の「どんぐり教室」(現遠別小3年生)と「森林づくり現場見学会」(小中学校の先生)で、みんなで植えたどんぐり(ミズナラ)がどうなっているか、森林官が浜啓明の防風保安林へ見に行ってきました。



「どんぐり教室」で整然と並べた紙ポットをのぞき込んで見ると・・・。



大きな葉っぱを広げていました^^!。一安心ですね。



「森林づくり現場見学会」で先生方が植えた苗木もしっかり根付いていました^^!。これからも大きく育つように見守って行きますね!

森林づくりの道、工事中です

国有林の奥深くへ伸びる「林道」は森林の手入れをしたり、苗木、資材や木材を運搬したり、森林づくりを進めるためになくてはならない大切な道路です。

現在、遠別地区の国有林では、昨年の雪解け時の河川増水などで浸食、欠損した林道五路線(幌別、老楽、上遠別、大成第一、又プリ)の復旧工事を進めています。

これらの沿線には、沢山の造林地が広がり、下刈り、除伐などの保育作業や将来の間伐作業等に



よう壁工を進めている幌別林道

欠かすことのできない路線であることから、コンクリートよう壁などを施工し、復旧させます。

近隣住民の皆さまには、工事車両の通行などが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

真夏の太陽へ向かって伸びる幼木にとって最大の敵は、それを上回る速さでぐんぐん伸びる夏草たち。

このまま放っておいては、幼木はすっぽり覆われてしまつて、陽も当たらず、大きくなれません。

そのため、造林地では植え付けられた苗木が、周りの草本たちより高く生長するまでの間、毎年この時期に下刈りを行います。

標準的には8年間続けられますが、夏の短い道北地方では生長も遅く、より長い期間必要になることもあります。

作業は刈払機を巧

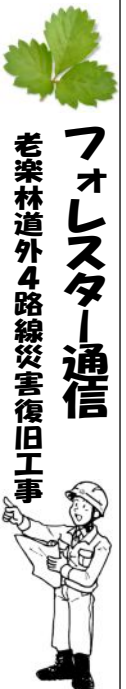


造林地の下刈り作業

みに操りながら造林木を間違つて切らないよう注意深く進めます。

真夏の炎天下での作業ですが、地道に手入れを続けていくことによって、植えられた木々は大きく育っていきます。

一日も早く立派な森林になってほしいですね。



フォレスター通信
老楽林道外4路線災害復旧工事

元気に育て北の森林!

造林木の下草刈りを実行中です



山火事予防ポスターと標語を募集しています

山火事を予防するには、一人一人が森林を守っていく意識を高めていくことが大切です。そのために、これらのPRに活用させていただく「山火事予防のポスター用原画」、「標語」を募集しています。詳しくは <http://www.center-green.or.jp/> をご覧ください。

主催：(財)林野弘済会 後援：林野庁ほか 募集期間：平成18年6月1日～9月15日



遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1,500部発行、全戸配布です。



富士見ヶ丘公園はエゾヤマザクラが満開。花びらの枚数や形も熱心に観察して、記録しました。



「木に何かついてるぞ〜」。みんなが集まってきて「これ何だろう??」。この好奇心が大切です。



「これで40年も経ってるぞ!!」。切り株の年輪を一生懸命数えました。



「ヘビ発見!」子供の大歓声に大慌てで逃げました。

春夏秋3回シリーズ森林の探検

五月二十二日、遠別小学校三年生の皆さんと富士見ヶ丘公園で春の森林教室を行いました。これは「森林環境教育」の一環として小学校と森林管理署が連携して行っているものです。今年の三年生のカリキュラムは、春・夏・秋の三回シリーズとして企画。季節とともに移り変わる森林の植生や虫たちの様子を継続的に観察し、学習していきます。

「春編」の今回は、森林官と一緒に林内を歩きながら、この季節ならではの植物などを観察しました。山菜らしき草を見つけては、「これ食べられる?」などとささず質問。とっても元気な皆さんと楽しく勉強した一日となりました。



森林官の説明を熱心に聞く皆さん



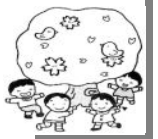
快晴に恵まれた五月二十一日、遠別町に春の訪れを告げる「富士見ヶ丘公園開き山菜まつり」が開催され、留萌北部森林管理署では、今年も山菜採取の協力を行いました。この準備には、約三週間前から現場の行き帰りなどに山菜の分布、生育状況をチェック。一週間前から行者ニンニク、ユキザサ、ニリンソウなど十三種類を採取し（フキは実行委員会の応援を頂きました）、山菜の調理を担当する係の皆さんにお届けしました。当日は、山菜料理の前には試食を待つ長蛇の列ができて、美味しい笑顔が会場いっぱい広がっていました。また、お土産に配られたフキの束も数分で品切れになるなど大盛況。皆さんと一緒に美味しく、楽しい春の一日を過ごすことができました。

国有林の山菜をみなさんへ、森林事務所が採取協力



恒例のフキの無料配布も大人気!!

山の恵みをみんな美味しく
富士見ヶ丘公園「山菜まつり」



>>> 販売を目的として山菜を採取されるみなさんへ



国有林においてフキ、ウドなどの山菜を販売目的（山菜買い取り業者へ持ち込むことも含みます）で採取される場合は、森林管理署との「林産物買受契約」が必要となります。詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1,500部発行、全戸配布です。

春を探して山仕事 残雪越えて境界巡視

春の山仕事は雪解けとの競争です。なぜなら、冬の間、沢や笹藪が雪で埋まり、スノーモビルやスキーでどこまでも行けた山々が、もとの姿へ戻ってしまうからです。



このような中、森林事務所では国有林と民有地の境界を巡視し、異常の有無の点検や「境界見出標」の更新などを行う作業を進めています。



残雪も残りあとわずか。皆さんのお手元に本紙が届く頃には、融雪に追いつかれて作業終了でしょうか。

熊さんも、それまでもう少しおとなしくしてね^^

奨励賞を受賞しました 林業関係広報コンクール

このたび「第40回林業関係広報コンクール」(全国林業改良普及協会主催)において、当所のミニコミ活動が同協会長賞(奨励賞)を頂くことになりました。

これからより良い紙面作りに努め、町内の皆さんへ国有林の情報を伝えていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いします。

アカエゾ15,000本植えます!

中央地区の水源かん養保安林において、アカエゾマツの植付を行うほか、植栽木の生長を妨げる下草の刈払い(下刈)、灌木類の除去(除伐)、作業路の修理等を行います。

◆造林事業◆

暖かな風が心地よく流れ、遠別の山々では草木が芽吹き、溪流ではヤチブキが咲き誇る季節になりましたが、いかがお過ごしでしょうか? さて、今回は遠別地区の国有林における今年度の主な事業を紹介いたします。



アカエゾマツ植付作業

◆林道事業◆

森林づくりに欠かすことのできない「林道」の計画的な整備、自然災害による不通箇所への復旧工事等を行います。

- ・地拵(八・四畝)
- ・植付(一五〇〇〇本)
- ・下刈(五〇・七畝)
- ・除伐(七二・〇畝)
- ・作業道修理(三・四km)
- ・歩道修理(一・四km)

◆治山事業◆

浜啓明地区の防風保安林造成地において植栽木の生長を妨げる下草の刈払いを行います。

- ・下刈(四・二畝)

◆伐採系森林整備事業◆

比志久内沢地区で、うっ閉した森林の一部



重機を使った林道修理作業

を伐採し、日光が当たる場所を作り、稚樹の芽生えを促し、森林を復元化していくことを目的にする間伐である「受光伐」を行い、その木材も利用します。

・受光伐(七三〇㎡)

このほか、健全な森林を育てるための間伐事業、森林計画編成のための林況調査、国有林境界の巡検、野鼠の生息調査、子供たちとの森林教室などを計画的に進めて行きます。

今年度も遠別国有林がより良い森林となるよう、職員一同頑張りますので、みなさんのご理解と協力をお願いいたします。



>>> 販売を目的として山菜を採取されるみなさんへ



国有林においてフキ、ウドなどの山菜を販売目的(山菜買い取り業者へ持ち込むことも含みます)で採取される場合は、森林管理署との「林産物買受契約」が必要となります。詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1500部発行、全戸配布です。

春探し林道探検

清川林道

市街地は日増しに雪解けが進んでいますが、山中はどんな様子でしょうか。今回は道道遠別中川線の咲花トンネル手前から国有林奥深くへ伸びる「清川林道」へ春探しに出掛けてみました。



林道は未だ2m超える積雪で閉ざされています。



これでは、春はまだまだな〜と、スノーシューを履いて進んでいくと、溪流に春を告げるネコヤナギの新芽が綿毛を広げ始めていました。



さらに奥へ進んでいくとナカマドの新芽もふくらみ始めていました。雪深くとも春の準備は着々と進行中。これらが一気に開くのも、もうすぐそこです。

くらしを守る防風保安林

三月十五日、留萌北部署管内の国有防風保安林の見学会を開催しました。これは強風を緩和し、私達の暮らしや農作物などを守っている「防風保安林」への理解を深めてもらうことを目的に行ったもので、新聞などでの一般公募で集まったみなさんとバスに乗り、幌延町・天塩町・遠別町にある国有防風保安林を案内しました。

当日は強風が吹き荒れるあいにくの天候でしたが、林道に入ると嘘のように風がやわらぎ、穏やかな環境になるのをしっかりと体感できました。参加者の皆さんからは、防風保安林が随所にあることやその効果の大きさに驚きの声が聞かれ、認識を深めていただく良い機会となりました。

遠別町内には八地区（下記位置図）合計七十九

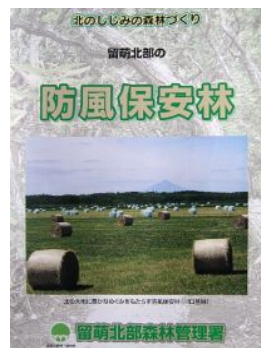


見学会参加者のみなさん

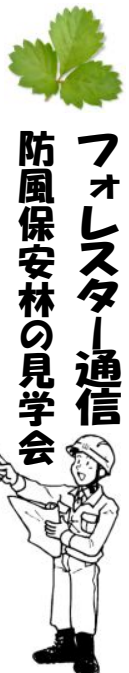
の防風保安林があります。①急激な温度変化の緩和②土壌の風による浸食防止③土壌・農作物からの蒸散緩和④土壌中の水分の増加⑤水位の上昇⑥農産物の収量の増加⑦雪の吹き寄せの防止など。



このたび「留萌北部の防風保安林」のパンフレットを作成しました。希望者には無料で配布していますので、お気軽にご連絡下さい。



森林管理署では、これらの働きが十分に発揮されるよう、苗木の植付や保育作業などを行うと共に日々適切な管理に努めています。今後もこの大切な防風保安林を守っていくために、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。



大切な森林を山火事から守りましょう！



春は空気が乾燥し、山火事の危険が高まる季節です。森林は一旦火災などで失われると、その大切な機能が回復するまでには何十年もの年月と多大な経費を要することになります。山火事のほとんどは、人為的な要因によって起きています。このことは、私達一人ひとりが火の取扱いに注意することで山火事を未然に防止できるということでもあります。かけがえのない貴重な森林を守るため、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1500部発行、全戸配布です。

冬の林道探検

こんなの見つけたよ^^!

3月に入り雪質もガリガリに締まって歩きやすくなりました。

今月はそんな林道で見つけたものをスナップしてきましたよ。



まるでおとぎ話に出てくる小人のおじいさんみたい。これはクルミの木の新芽ですよ。



これは地球侵略にやってきた怖い宇宙人^^?、いえいえ、ホウノキの新芽ですよ。



この木の洞穴はキツツキが一生懸命作ったお家でしょうか? それにしても、これだけ激しく突っついて、よく脳震とうにならないよね^^!

旭のトドマツ元気に育ってます

旭温泉の奥から響いてくるチェンソーのエンジン音。現在ここで、成長とともに過密となつてきた人工林を、一定の本数を間引きする「間伐」作業を行っています。

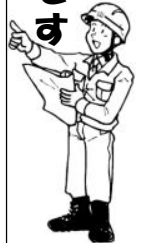
この地区は昭和四五(六年)にかけて植栽されたトドマツの人工林で、その後三五年を経て、高さ十八四(五)メートル、太さは十八センチ程度に成長しています。



列状間伐が行われたトドマツ人工林



フォレスター通信
旭地区で間伐です



間伐で森は生き生き～大きく育て!

間伐率(※)を二五%などとするもので、伐倒や搬出などの直線化により、作業効率の向上などが図られます。

伐採された木々はブルドーザで集め、麓の土場まで運び込まれ、用途に応じた長さに玉切りにし、積み上げられます。そして、順次トラックで消費地へ運ばれていきます。

間伐作業が完了すると林内が広々と林内が広々と、木々は太く枝を広げ、たくしっかり育っていきます。



ブルドーザによる集材作業

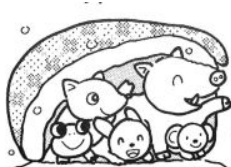
また、日光が降り注ぐようになった地面には、沢山の新たな植物が芽吹き、その森林は生き生きとした活力のある状態になります。

国有林ではこのような間伐作業を積極的に進め、元気な森林を育てています。旭地区のトドマツ林もほとんど大きく育ってほしいですね。

「木づかい」は誰にでもできるエコ活動～みんなで止めよう「地球温暖化」

日本では国産の木材があまり使われていません。このため、手入れが行き届かない人工林が増えています。植える、育てる、収穫する、上手に使うというリサイクルが、CO2をたっぷり吸収する元気な森をつくります。

「木づかい」とは、暮らしに国産材の製品をどんどん取り入れて森を育てるエコ活動。木を使うことから、すべてが始まります。みんなで止めよう地球温暖化! <http://www.rinya.maff.go.jp/>



遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1500部発行、全戸配布です。

冬の林道探検

旭林道を歩く

管轄国有林をパトロールし、その自然状況を把握するのも森林官の仕事です。

ある晴れた日、旭温泉から先へ伸びる「旭林道」をスノーシューを履き、深雪をかき分けながら歩いてみました。



夏場は車で駆け抜けてしまいう林道も、ゆっくり雪を踏みしめながら歩くと、普段見えなかった景色が見えてきます。



雪原に点々とびる足跡は野ウサギでしょうか？

この他にもタヌキ？キツネ？等の元気な足跡が多数。餌探しをしていたのかな。



今からこんなに広げて大丈夫？と心配してしまうような木々の芽。あと1ヶ月ちょっとの辛抱でしょうか。

さて、今回は巡視中のフォトスケッチを紹介しました。来月からは春の気配を少しずつお伝えしたいと思います。

「冬の間に、森林官の皆さんはどんな仕事をしているのですか？」と愛読者(?)からのご質問、「待ってました！」とばかりにお答えしましょう。

今の時期、山も林道も深い雪に埋もれているからといって「冬休み」をしているわけではありません。

むしろこの季節は、夏には歩くのが困難な笹やブヤ沢などが深い雪に埋もれて歩きやすく、また、木々の葉が落ちたため、林内の見通しも良いことから森林調査には最適。

雪に埋もれた林道をスノーモビルでシバシバきつた空気を切り裂きながら

走り、終点からは、スキークにアザラシ皮の滑り止めを取り付けた山仕事専用の「ソンメルスキー」を履き、キツイ斜面を湯気立ち上らせながら毎日調査地へ向かう毎日なのです。



輪尺でトドマツの太さを計測中



フォレスター通信
清川で森林調査です



すくすく育つ清川のトドマツ人工林

現在、清川地区、熊井沢・清川右股・清川左股の各林道沿いの人工造林地において調査を進めています。

これらの造林地は昭和四〇年代にトドマツが植栽され、三十余年を経過した森林で、成長した木々の太さや高さ、本数、自然に生えてきた天然木の数などを細かく調べ、それらの結果を基に、例えば「成長状況が良く、木々が混み合っているので、間伐（間引き）が必要」などと判断していきます。

積雪寒冷地の厳しい条件下にある



ソンメルスキーを履いて林内を進む森林調査隊

ものの調査地の造林木は、平均して高さ十一メートル程度に成長しており、今後は間伐作業などを考えています。

今期の調査対象面積は約七〇〇畝に及びますが、三月末までには調査を終える予定で全所員五名で頑張っています。



みんなで止めよう温暖化！「木づかい」は誰にでもできるエコ活動です

日本では国産の木材があまり使われていません。このため、手入れが行き届かない人工林が増えています。植える、育てる、収穫する、上手に使うというリサイクルが、CO2をたっぷり吸収する元気な森をつくれます。

「木づかい」とは、暮らしに国産材の製品をどんどん取り入れて森を育てるエコ活動。木を使うことから、すべてが始まります。みんなで止めよう地球温暖化！

遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1500部発行、全戸配布です。

森林官も日々勉強

森林整備技術検討会

このたび留萌北部森林管理署では森林整備技術の向上のため森林官等を集め、現地検討会を天塩・幌延地区の国有林で行いました。

遠別からも全職員が参加し、伐採による森林整備方法である「受光伐」(※1)、「誘導伐」(※2)に対応した森林の調査や施業方法等について、これらの実施地や予定地に入り、より良い森林づくりへの検討を重ねました。(写真)



近年、森林には「地球温暖化防止機能の発揮」、「災害への強さ」が特に求められており、これらに資する森林づくりを進める上でも伐採系森林整備事業が注目されています。

遠別地区国有林においても、今回検討し、学んだことを生かしながら、より良い森林づくりに努めていきたいと思っています。

(※1)森林の一部を伐採し、森林内に日光が当たる場所をつくって樹種の芽生えを促し、複層林化していくことを目的とした森林整備方法。

(※2)人工林を対象に、15年程度の間隔で数回抜き伐りし、そこへ苗木の植栽等を実施することで、樹齢100年以上の上層木が循環的に伐採、利用できる多段林へ誘導することを目的とした森林整備方法。

植林した木々が数十年を経て大きく育つてくると、隣同士の木の枝が触れ合うようになり、日光が幹の先の部分にしか当たらなくなります。これをそのまま放っておくと太くなれず、ヒヨロヒヨロのモヤシのような木ばかりのひ弱な森林になってしまいます。そうならないよう適期に、例えば三〇五本に一本程度を間引いてあげる必要があります、この作業を「間伐」(かんばつ)といえます。

現在、遠別町共栄地区・歌越林道沿線の国有林では、一月末までの予定で、この「間伐」作業を行っています。現地は昭和三八〜三九年に植栽されたトドマツの人工林で、高さ約十二メートル、直径二十センチ程に成長しています。間伐の実施に当たっては、木々の混み具合や生



チェーンソーによる伐倒作業



フォレスター通信
共栄で「間伐」実行中



間伐で森林は生き生きパワー全開！！

育状況を把握するなど、基準に沿って調査、算出した「間伐率」をもつて伐採を行っています。作業が完了すると、林内が広々するとともに木々は太くしつかり育ち、地面に日光が届くようになり植生は多様化し、その森林は生き生きとした活力のある状態になります。間伐された木々は発育途上で細く、本格的に利用できる木材にはなりにくいため、用途を工夫し、例えば、土木工事の資材や木質チップなどに加工し、無駄



土場に集積されたトドマツ間伐木

なく活用しています。遠別地区の国有林においても、海岸林造成地で強風から幼木を守る「防風柵」や治山工事の「土留め工」資材などへ、これらの木材を利用し、新しい森林づくりにもつなげています。間伐後の森林のさらなる成長が今からとても楽しみです。



「国有林モニター」を募集しています！

林野庁北海道森林管理局では、みなさんに国有林の役割や現状を理解していただくとともに、国有林野の管理・経営にみなさんの声を役立てていくことを目的として、平成18年度の「国有林モニター」(北海道全体で50名程度)を募集しています。

応募条件等詳しくは北海道森林管理局ホームページ <http://www.hokkaido.kokuyurin.go.jp/> をご覧ください。